

# ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース／通貨αコース)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間 (2014年1月24日～2024年1月17日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド(資産成長クラス)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド(通貨αクラス)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 運用報告書(全体版)

資産成長コース	第12期 (決算日 2020年1月17日)
	第66期 (決算日 2019年8月19日)
	第67期 (決算日 2019年9月17日)
通貨αコース	第68期 (決算日 2019年10月17日)
	第69期 (決算日 2019年11月18日)
	第70期 (決算日 2019年12月17日)
	第71期 (決算日 2020年1月17日)
(作成対象期間 2019年7月18日～2020年1月17日)	

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

[資産成長コース]は、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、[通貨αコース]は、新興国の現地通貨建債券への分散投資とオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5620>  
<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末(2018年1月17日)	10,297	10	2.0	11,398	3.8	—	99.3	1,154
9期末(2018年7月17日)	9,626	10	△ 6.4	10,701	△ 6.1	—	99.0	897
10期末(2019年1月17日)	9,421	10	△ 2.0	10,559	△ 1.3	—	99.1	824
11期末(2019年7月17日)	9,814	10	4.3	11,203	6.1	—	99.2	783
12期末(2020年1月17日)	10,276	10	4.8	11,790	5.2	—	99.6	733

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

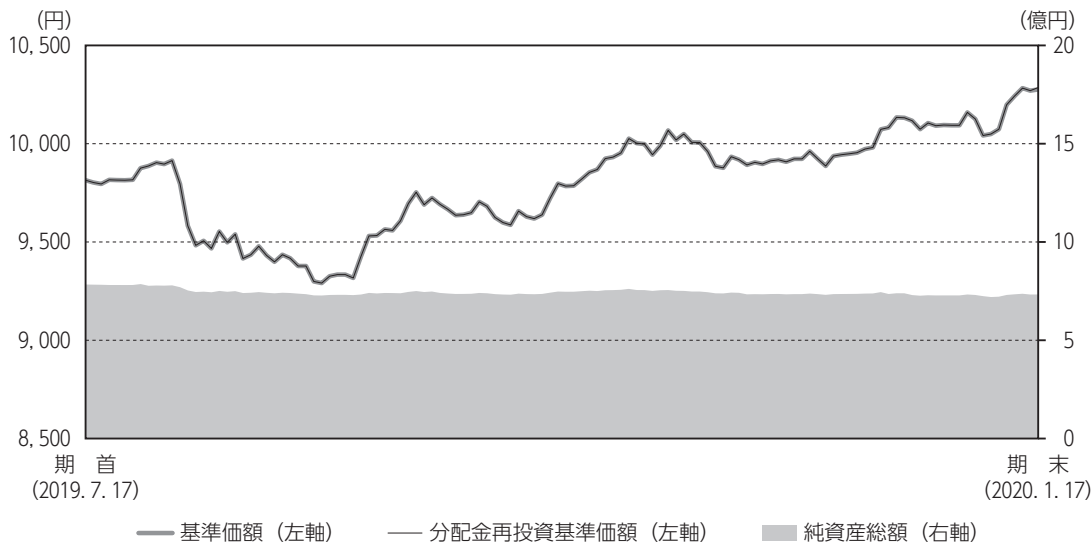
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,814円

期末：10,276円（分配金10円）

騰落率：4.8%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や債券価格の上昇、投資対象通貨が円に対して上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-EEM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年 7月17日	円 9,814	% —	11,203	% —	% —	% 99.2
7月末	9,896	0.8	11,209	0.1	—	99.0
8月末	9,326	△ 5.0	10,683	△ 4.6	—	99.4
9月末	9,704	△ 1.1	10,999	△ 1.8	—	99.4
10月末	9,998	1.9	11,379	1.6	—	99.4
11月末	9,923	1.1	11,228	0.2	—	99.5
12月末	10,159	3.5	11,665	4.1	—	99.7
(期末) 2020年 1月17日	10,286	4.8	11,790	5.2	—	99.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2019. 7. 18 ~ 2020. 1. 17）

### 新興国債券市況

新興国債券市場では、個別国要因により、多くの国で金利は低下しました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、中央銀行が大幅な政策金利の引き下げを行ったことやインフレ率が鈍化傾向になったことなどを背景に、金利は低下しました。ロシアでは、中央銀行による利下げが行われたことや原油価格が堅調であったことなどから、金利は低下しました。ポーランドでは、金利はほぼ横ばいとなりました。

#### ・ アジア地域

インドネシアやフィリピンでは、中央銀行による利下げが行われたことなどを背景に、金利は低下しました。インドでも、中央銀行による利下げが行われ短期金利は低下しましたが、政府の財政赤字拡大に対する懸念が高まったことなどにより、長期金利は上昇しました。

#### ・ 中南米地域

ブラジルでは、中央銀行による利下げが行われたことや年金制度改革の進展から、金利は低下しました。メキシコおよびペルーにおいても、中央銀行による利下げが行われたことなどから、金利は低下しました。

### 為替相場

新興国の為替相場は、個別国要因に加えて、米中貿易摩擦への懸念に左右されつつ、国によってまちまちな展開となりました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、トルコでのクルド系市長の解任や対米関係の悪化懸念の高まりなどにより、対円で下落しました。ロシア・ルーブルやポーランド・ズロチは、米中貿易摩擦への懸念が後退したことで、市場のリスク回避的な姿勢が弱まったことなどを背景に、対円で上昇しました。

#### ・ アジア地域

インド・ルピーは、2019年8月初めに米中貿易摩擦への懸念が高まった際に対円で大きく下落しましたが、その後は当該懸念の後退などにより値を戻し、下落幅が縮小しました。インドネシア・ルピアやフィリピン・ペソは、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に、対円で上昇しました。

#### ・ 中南米地域

ブラジル・レアルは、2019年8月初めに米中貿易摩擦への懸念が高まった際に対円で大きく下落しましたが、その後は当該懸念の後退や年金制度改革の進展などにより値を戻し、下落幅が縮小しました。メキシコ・ペソやペルー・ソルは、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に、対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2019. 7. 18 ~ 2020. 1. 17)

### ■当ファンド

当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域では、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチに投資を行いました。アジア地域においてはインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

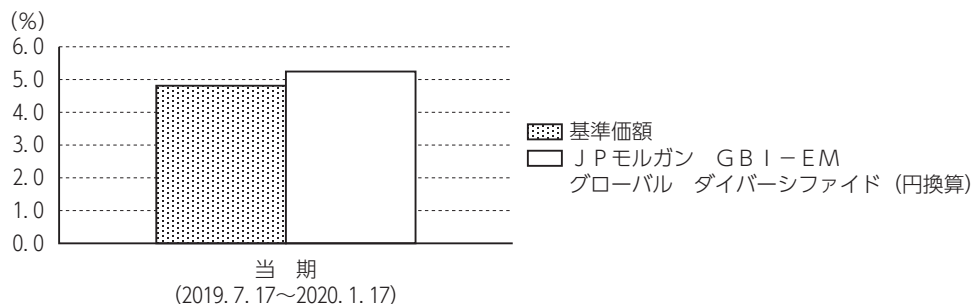
## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年7月18日 ～2020年1月17日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>10</b>
対基準価額比率	（％）	0.10
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,897

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 278.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	58.42
(d) 分配準備積立金	3,570.93
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,907.60
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,897.60

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 7. 18～2020. 1. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	58円	0.590%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,804円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.412)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	58	0.594	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

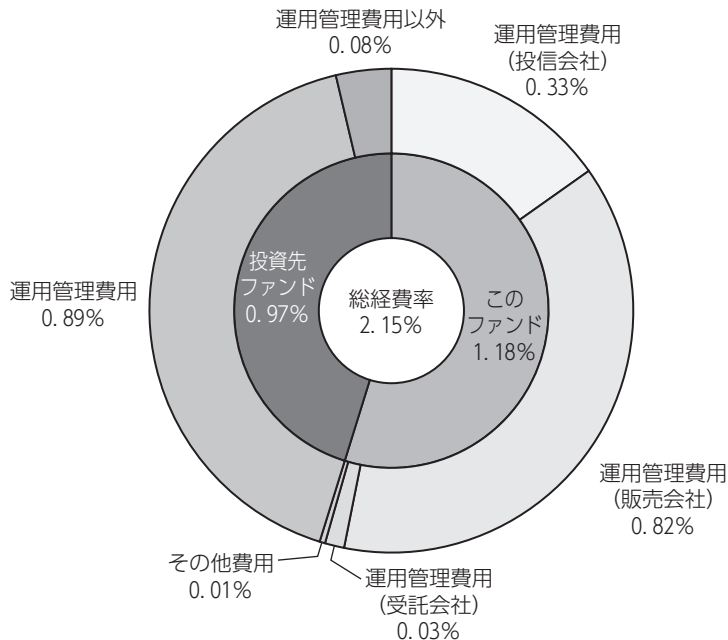
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.15%
①このファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2019年7月18日から2020年1月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	329,20692	23,610	1,178,80403	86,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2019年7月18日から2020年1月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	1,178,80403	86,000	72

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	9,732,30819	729,816	99.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	33	33	34

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	729,816	98.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	11,283	1.5
投資信託財産総額	741,134	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年1月17日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>741,134,161円</b>
コール・ローン等	11,283,828
投資信託受益証券（評価額）	729,816,058
ダイワ・マネー・マザーファンド （評価額）	34,275
<b>(B) 負債</b>	<b>8,122,592</b>
未払収益分配金	713,347
未払解約金	2,990,694
未払信託報酬	4,387,792
その他未払費用	30,759
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>733,011,569</b>
元本	713,347,825
次期繰越損益金	19,663,744
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>713,347,825口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	10,276円

\* 期首における元本額は798,425,808円、当作成期間中における追加設定元本額は899,477円、同解約元本額は85,977,460円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,276円です。

### ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	19,848,477円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,167,873
(d) 分配準備積立金	254,732,123
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	278,748,473
(f) 分配金	713,347
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	278,035,126
(h) 受益権総口数	713,347,825口

### ■損益の状況

当期 自 2019年7月18日 至 2020年1月17日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>22,456,749円</b>
受取配当金	22,458,372
受取利息	11
支払利息	△ 1,634
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>15,583,390</b>
売買益	16,866,809
売買損	△ 1,283,419
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>4,418,554</b>
△	
<b>(D) 当期損益金（A + B + C）</b>	<b>33,621,585</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>15,393,457</b>
△	
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>2,148,963</b>
（配当等相当額）	（ 4,167,873）
（売買損益相当額）	（△ 2,018,910）
<b>(G) 合計（D + E + F）</b>	<b>20,377,091</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>713,347</b>
△	
<b>次期繰越損益金（G + H）</b>	<b>19,663,744</b>
追加信託差損益金	2,148,963
（配当等相当額）	（ 4,167,873）
（売買損益相当額）	（△ 2,018,910）
分配準備積立金	273,867,253
繰越損益金	△ 256,352,472

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
42期末(2017年8月17日)	6,422	80	△ 0.5	10,841	△ 1.3	—	98.7	3,659
43期末(2017年9月19日)	6,437	80	1.5	11,249	3.8	—	98.9	3,531
44期末(2017年10月17日)	6,304	80	△ 0.8	11,158	△ 0.8	—	98.9	3,314
45期末(2017年11月17日)	6,135	80	△ 1.4	10,933	△ 2.0	—	99.1	3,139
46期末(2017年12月18日)	6,141	80	1.4	11,103	1.6	—	98.8	3,033
47期末(2018年1月17日)	6,141	80	1.3	11,398	2.7	—	98.6	2,986
48期末(2018年2月19日)	5,923	80	△ 2.2	11,178	△ 1.9	—	99.5	2,811
49期末(2018年3月19日)	5,792	55	△ 1.3	10,987	△ 1.7	—	99.7	2,728
50期末(2018年4月17日)	5,729	55	△ 0.1	11,158	1.6	—	99.6	2,593
51期末(2018年5月17日)	5,589	55	△ 1.5	10,784	△ 3.4	—	99.2	2,484
52期末(2018年6月18日)	5,379	55	△ 2.8	10,406	△ 3.5	—	99.0	2,340
53期末(2018年7月17日)	5,401	55	1.4	10,701	2.8	—	99.2	2,308
54期末(2018年8月17日)	5,055	55	△ 5.4	10,084	△ 5.8	—	99.1	2,142
55期末(2018年9月18日)	4,927	55	△ 1.4	10,064	△ 0.2	—	99.3	2,049
56期末(2018年10月17日)	5,000	55	2.6	10,415	3.5	—	99.2	2,032
57期末(2018年11月19日)	5,064	40	2.1	10,467	0.5	—	99.1	2,012
58期末(2018年12月17日)	5,007	40	△ 0.3	10,494	0.3	—	99.2	1,952
59期末(2019年1月17日)	4,952	40	△ 0.3	10,559	0.6	—	99.0	1,898
60期末(2019年2月18日)	4,988	40	1.5	10,779	2.1	—	99.5	1,878
61期末(2019年3月18日)	5,008	40	1.2	10,931	1.4	—	99.3	1,849
62期末(2019年4月17日)	4,976	40	0.2	11,015	0.8	—	99.5	1,809
63期末(2019年5月17日)	4,815	40	△ 2.4	10,630	△ 3.5	—	99.6	1,739
64期末(2019年6月17日)	4,828	40	1.1	10,827	1.9	—	98.9	1,689
65期末(2019年7月17日)	4,903	40	2.4	11,203	3.5	—	99.4	1,694
66期末(2019年8月19日)	4,720	40	△ 2.9	10,835	△ 3.3	—	99.1	1,589
67期末(2019年9月17日)	4,791	40	2.4	11,106	2.5	—	99.1	1,567
68期末(2019年10月17日)	4,777	40	0.5	11,205	0.9	—	99.2	1,542
69期末(2019年11月18日)	4,784	40	1.0	11,282	0.7	—	99.3	1,523
70期末(2019年12月17日)	4,816	40	1.5	11,541	2.3	—	99.2	1,496
71期末(2020年1月17日)	4,819	40	0.9	11,790	2.2	—	98.8	1,467

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

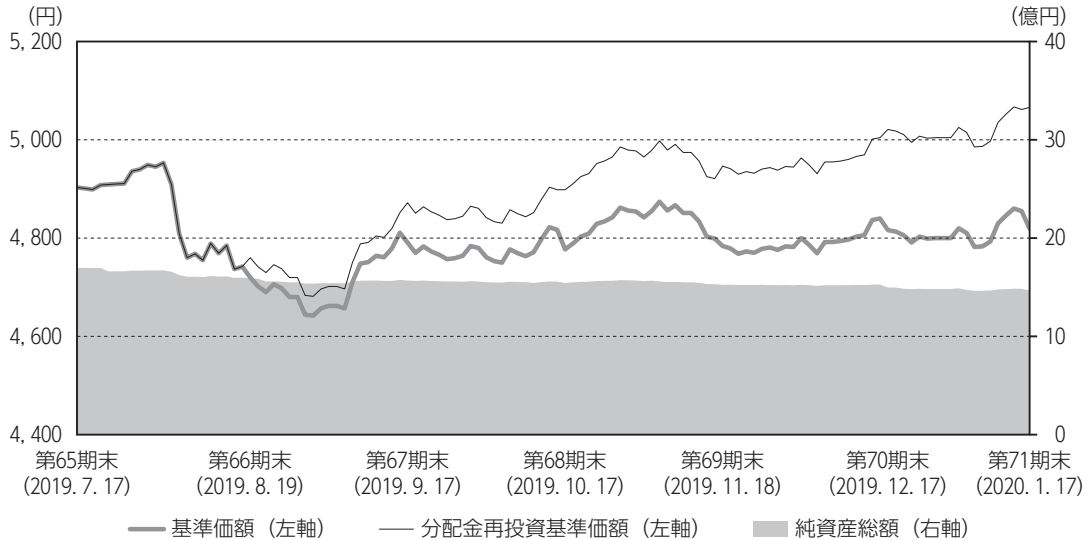
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第66期首：4,903円

第71期末：4,819円（既払分配金240円）

騰落率：3.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

通貨オプション取引によるプレミアム収入や債券の利息収入、債券価格の上昇、投資対象通貨が円に対して上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
		円	%		%	%	%
第66期	(期首) 2019年 7月17日	4,903	—	11,203	—	—	99.4
	7月末	4,945	0.9	11,209	0.1	—	99.2
	(期末) 2019年 8月19日	4,760	△ 2.9	10,835	△ 3.3	—	99.1
第67期	(期首) 2019年 8月19日	4,720	—	10,835	—	—	99.1
	8月末	4,657	△ 1.3	10,683	△ 1.4	—	99.5
	(期末) 2019年 9月17日	4,831	2.4	11,106	2.5	—	99.1
第68期	(期首) 2019年 9月17日	4,791	—	11,106	—	—	99.1
	9月末	4,784	△ 0.1	10,999	△ 1.0	—	99.4
	(期末) 2019年10月17日	4,817	0.5	11,205	0.9	—	99.2
第69期	(期首) 2019年10月17日	4,777	—	11,205	—	—	99.2
	10月末	4,854	1.6	11,379	1.6	—	99.3
	(期末) 2019年11月18日	4,824	1.0	11,282	0.7	—	99.3
第70期	(期首) 2019年11月18日	4,784	—	11,282	—	—	99.3
	11月末	4,782	△ 0.0	11,228	△ 0.5	—	99.7
	(期末) 2019年12月17日	4,856	1.5	11,541	2.3	—	99.2
第71期	(期首) 2019年12月17日	4,816	—	11,541	—	—	99.2
	12月末	4,820	0.1	11,665	1.1	—	98.2
	(期末) 2020年 1月17日	4,859	0.9	11,790	2.2	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

（2019. 7. 18 ~ 2020. 1. 17）

### 新興国債券市況

新興国債券市場では、個別国要因により、多くの国で金利は低下しました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、中央銀行が大幅な政策金利の引き下げを行ったことやインフレ率が鈍化傾向になったことなどを背景に、金利は低下しました。ロシアでは、中央銀行による利下げが行われたことや原油価格が堅調であったことなどから、金利は低下しました。ポーランドでは、金利はほぼ横ばいとなりました。

#### ・ アジア地域

インドネシアやフィリピンでは、中央銀行による利下げが行われたことなどを背景に、金利は低下しました。インドでも、中央銀行による利下げが行われ短期金利は低下しましたが、政府の財政赤字拡大に対する懸念が高まったことなどにより、長期金利は上昇しました。

#### ・ 中南米地域

ブラジルでは、中央銀行による利下げが行われたことや年金制度改革の進展から、金利は低下しました。メキシコおよびペルーにおいても、中央銀行による利下げが行われたことなどから、金利は低下しました。

### 為替相場

新興国の為替相場は、個別国要因に加えて、米中貿易摩擦への懸念に左右されつつ、国によってまちまちな展開となりました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、トルコでのクルド系市長の解任や対米関係の悪化懸念の高まりなどにより、対円で下落しました。ロシア・ルーブルやポーランド・ズロチは、米中貿易摩擦への懸念が後退したことで、市場のリスク回避的な姿勢が弱まったことなどを背景に、対円で上昇しました。

#### ・ アジア地域

インド・ルピーは、2019年8月初めに米中貿易摩擦への懸念が高まった際に対円で大きく下落しましたが、その後は当該懸念の後退などにより値を戻し、下落幅が縮小しました。インドネシア・ルピアやフィリピン・ペソは、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に、対円で上昇しました。

#### ・ 中南米地域

ブラジル・レアルは、2019年8月初めに米中貿易摩擦への懸念が高まった際に対円で大きく下落しましたが、その後は当該懸念の後退や年金制度改革の進展などにより値を戻し、下落幅が縮小しました。メキシコ・ペソやペルー・ソルは、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に、対円で上昇しました。

## ■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、おおむね低下しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の獲得をめざします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2019.7.18～2020.1.17)

### ■当ファンド

当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域では、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチに投資を行いました。アジア地域においてはインドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。
- ・ 債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・ 通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

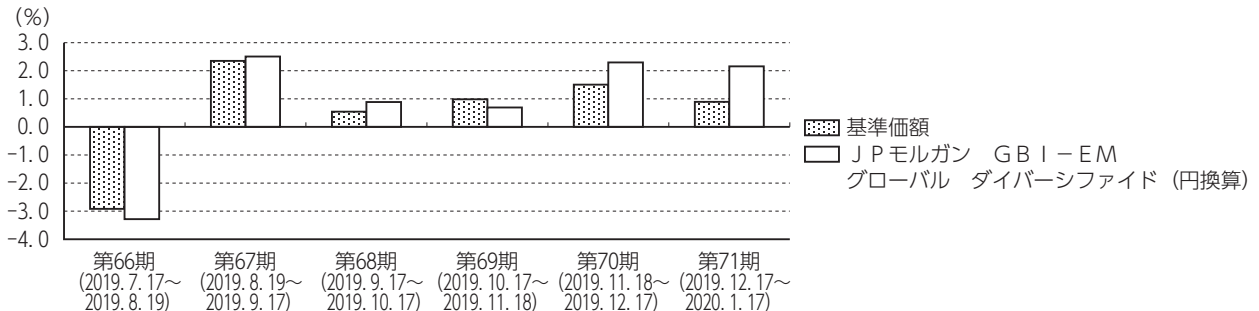
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2019年7月18日 ～2019年8月19日	2019年8月20日 ～2019年9月17日	2019年9月18日 ～2019年10月17日	2019年10月18日 ～2019年11月18日	2019年11月19日 ～2019年12月17日	2019年12月18日 ～2020年1月17日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.84	0.83	0.83	0.83	0.82	0.82
当期の収益 (円)	40	40	40	40	35	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	4	—
翌期繰越分配対象額 (円)	212	222	223	229	224	228

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 48.70円	✓ 50.14円	✓ 40.42円	✓ 45.89円	✓ 35.75円	✓ 44.01円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	26.44	26.81	27.22	27.66	28.09	28.53
(d) 分配準備積立金	177.42	185.76	195.49	195.48	✓ 200.94	196.26
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	252.57	262.72	263.15	269.04	264.79	268.81
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	212.57	222.72	223.15	229.04	224.79	228.81

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第66期～第71期 (2019. 7. 18～2020. 1. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	28円	0. 589%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は4, 795円です。</b>
(投 信 会 社)	(8)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0. 411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0. 038	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(2)	(0. 038)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	30	0. 630	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

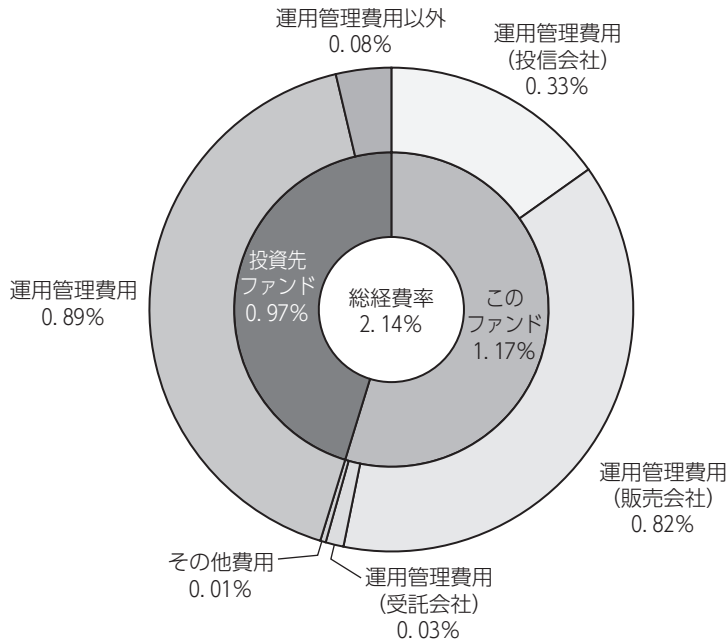
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.14%
①このファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

- (注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
 (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

### ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2019年7月18日から2020年1月17日まで）

決算期	第 66 期 ～ 第 71 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	2,115.40179	97,398	6,355.63625	295,408

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

（2019年7月18日から2020年1月17日まで）

第 66 期				～	第 71 期			
買 付				売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS（ケイマン諸島）	85.60179	4,000	46	EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS（ケイマン諸島）	6,355.63625	295,408	46	

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 71 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	30,966.01509	1,449,704	98.8

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託残高

種 類	第65期末	第 71 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	96	96	97

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2020年1月17日現在

項 目	第 71 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,449,704	97.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	97	0.0
コール・ローン等、その他	36,336	2.5
投資信託財産総額	1,486,139	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。



■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月19日)、(2019年9月17日)、(2019年10月17日)、(2019年11月18日)、(2019年12月17日)、(2020年1月17日)現在

項 目	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,604,725,993円</b>	<b>1,588,636,203円</b>	<b>1,559,968,444円</b>	<b>1,542,586,682円</b>	<b>1,562,243,828円</b>	<b>1,496,119,141円</b>
コール・ローン等	29,362,927	34,695,592	29,963,303	28,855,595	31,472,856	26,356,251
投資信託受益証券 (評価額)	1,575,265,128	1,553,842,673	1,529,907,203	1,513,633,159	1,484,765,045	1,449,704,962
ダイワ・マネー・マザー ファンド (評価額)	97,938	97,938	97,938	97,928	97,928	97,928
未収入金	—	—	—	—	45,907,999	19,960,000
<b>(B) 負債</b>	<b>15,205,571</b>	<b>20,691,408</b>	<b>17,276,876</b>	<b>18,672,156</b>	<b>65,556,110</b>	<b>28,407,491</b>
未払金	—	—	—	—	22,954,000	9,980,000
未払収益分配金	13,470,435	13,092,082	12,916,926	12,743,019	12,432,197	12,181,733
未払解約金	—	6,143,185	2,830,626	4,277,889	28,689,822	4,697,043
未払信託報酬	1,722,908	1,433,737	1,496,416	1,607,136	1,426,049	1,484,331
その他未払費用	12,228	22,404	32,908	44,112	54,042	64,384
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>1,589,520,422</b>	<b>1,567,944,795</b>	<b>1,542,691,568</b>	<b>1,523,914,526</b>	<b>1,496,687,718</b>	<b>1,467,711,650</b>
元本	3,367,608,759	3,273,020,653	3,229,231,542	3,185,754,926	3,108,049,329	3,045,433,312
次期繰越損益金	△ 1,778,088,337	△ 1,705,075,858	△ 1,686,539,974	△ 1,661,840,400	△ 1,611,361,611	△ 1,577,721,662
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,367,608,759口</b>	<b>3,273,020,653口</b>	<b>3,229,231,542口</b>	<b>3,185,754,926口</b>	<b>3,108,049,329口</b>	<b>3,045,433,312口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	4,720円	4,791円	4,777円	4,784円	4,816円	4,819円

\*第66期末における元本額は3,457,047,420円、当作成期間(第66期~第71期)中における追加設定元本額は41,694,083円、同解約元本額は453,308,191円です。

\*第71期末の計算口数当りの純資産額は4,819円です。

\*第71期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,577,721,662円です。

■損益の状況

第66期 自 2019年7月18日 至 2019年8月19日    第68期 自 2019年9月18日 至 2019年10月17日    第70期 自 2019年11月19日 至 2019年12月17日  
 第67期 自 2019年8月20日 至 2019年9月17日    第69期 自 2019年10月18日 至 2019年11月18日    第71期 自 2019年12月18日 至 2020年1月17日

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>18,137,204円</b>	<b>17,066,806円</b>	<b>14,562,525円</b>	<b>16,225,732円</b>	<b>11,825,499円</b>	<b>14,898,305円</b>
受取配当金	18,138,123	17,067,533	14,563,046	16,226,311	11,825,743	14,899,106
受取利息	4	1	14	2	2	4
支払利息	△ 923	△ 728	△ 535	△ 581	△ 246	△ 805
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 64,494,279</b>	<b>20,539,595</b>	<b>△ 4,414,901</b>	<b>127,765</b>	<b>11,986,239</b>	<b>△ 45,650</b>
売買益	159,306	20,810,113	211,260	390,110	12,139,649	34,044
売買損	△ 64,653,585	△ 270,518	△ 4,626,161	△ 262,345	△ 153,410	△ 79,694
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,735,136</b>	<b>△ 1,443,913</b>	<b>△ 1,506,921</b>	<b>△ 1,618,340</b>	<b>△ 1,435,986</b>	<b>△ 1,494,673</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 48,092,211</b>	<b>36,162,488</b>	<b>8,640,703</b>	<b>14,735,157</b>	<b>22,375,752</b>	<b>13,357,982</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 1,569,150,227</b>	<b>△ 1,581,776,539</b>	<b>△ 1,534,667,454</b>	<b>△ 1,514,786,392</b>	<b>△ 1,472,740,202</b>	<b>△ 1,430,151,238</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 147,375,464</b>	<b>△ 146,369,725</b>	<b>△ 147,596,297</b>	<b>△ 149,046,146</b>	<b>△ 148,564,964</b>	<b>△ 148,746,673</b>
(配当等相当額)	( 8,906,854)	( 8,777,286)	( 8,791,135)	( 8,814,260)	( 8,733,119)	( 8,690,161)
(売買損益相当額)	(△ 156,282,318)	(△ 155,147,011)	(△ 156,387,432)	(△ 157,860,406)	(△ 157,298,083)	(△ 157,436,834)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 1,764,617,902</b>	<b>△ 1,691,983,776</b>	<b>△ 1,673,623,048</b>	<b>△ 1,649,097,381</b>	<b>△ 1,598,929,414</b>	<b>△ 1,565,539,929</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 13,470,435</b>	<b>△ 13,092,082</b>	<b>△ 12,916,926</b>	<b>△ 12,743,019</b>	<b>△ 12,432,197</b>	<b>△ 12,181,733</b>
<b>次期繰越損益金 (G + H)</b>	<b>△ 1,778,088,337</b>	<b>△ 1,705,075,858</b>	<b>△ 1,686,539,974</b>	<b>△ 1,661,840,400</b>	<b>△ 1,611,361,611</b>	<b>△ 1,577,721,662</b>
追加信託差損益金	△ 147,375,464	△ 146,369,725	△ 147,596,297	△ 149,046,146	△ 148,564,964	△ 148,746,673
(配当等相当額)	( 8,906,854)	( 8,777,286)	( 8,791,135)	( 8,814,260)	( 8,733,119)	( 8,690,161)
(売買損益相当額)	(△ 156,282,318)	(△ 155,147,011)	(△ 156,387,432)	(△ 157,860,406)	(△ 157,298,083)	(△ 157,436,834)
分配準備積立金	62,681,528	64,119,984	63,269,791	64,153,619	61,135,223	60,992,759
繰越損益金	△ 1,693,394,401	△ 1,622,826,117	△ 1,602,213,468	△ 1,576,947,873	△ 1,523,931,870	△ 1,489,967,748

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
(a) 経費控除後の配当等収益	16,402,066円	16,411,557円	13,055,604円	14,620,015円	11,112,388円	13,403,631円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	8,906,854	8,777,286	8,791,135	8,814,260	8,733,119	8,690,161
(d) 分配準備積立金	59,749,897	60,800,509	63,131,113	62,276,623	62,455,032	59,770,861
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	85,058,817	85,989,352	84,977,852	85,710,898	82,300,539	81,864,653
(f) 分配金	13,470,435	13,092,082	12,916,926	12,743,019	12,432,197	12,181,733
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	71,588,382	72,897,270	72,060,926	72,967,879	69,868,342	69,682,920
(h) 受益権総口数	3,367,608,759口	3,273,020,653口	3,229,231,542口	3,185,754,926口	3,108,049,329口	3,045,433,312口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－  
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド  
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年1月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

純資産計算書  
2019年5月31日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	21,863,748
現金および現金同等物		766,488
未収：		
利息		351,945
売却済み証券		—
資産合計		<u>22,982,181</u>

負債

金融負債（損益通算後の評価額）		40,429
未払：		
保管会社報酬		23,339
専門家報酬		19,173
管理会社報酬		18,843
報酬代行会社報酬		17,339
副投資運用会社報酬		5,794
受託会社報酬		1,739
名義書換代理人報酬		1,599
受益証券の買戻し		—
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>128,255</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$	<u>22,853,926</u>

包括利益計算書

2019年5月31日に終了した年度

<b>収益</b>	
受取利息	\$ 1,908,506
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損益	(2,336,817)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価損益の純変動	350,044
外国為替取引による純実現損益	(107,525)
外国為替換算による評価損益の純変動	23,154
(損失) / 収益合計	<u>(162,638)</u>
<b>費用</b>	
副投資運用会社報酬	76,186
保管会社報酬	46,979
管理会社報酬	46,129
報酬代行会社報酬	44,818
専門家報酬	18,939
受託会社報酬	10,000
名義書換代理人報酬	8,696
登録料	914
費用合計	<u>252,661</u>
<b>金融費用控除前営業（損失） / 利益</b>	<u>(415,299)</u>
<b>金融費用</b>	
償却可能受益証券の保有者への分配金	<u>(3,273,847)</u>
源泉徴収税	(77,618)
<b>運用の結果生じた償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額</b>	<u>\$ (3,766,764)</u>

投資明細表  
2019年5月31日

## 債券

## ブラジル

NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/	\$	2,200,468.07
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/		287,423.10
<b>ブラジル計</b>		<b>2,487,891.17</b>

## インドネシア

INDONESIA 11.5% 09/15/19/IDR/		1,282,565.08
INDONESIA 8.375% 09/15/26/IDR/		937,721.80
<b>インドネシア計</b>		<b>2,220,286.88</b>

## メキシコ

PETROLEOS 7.65% 11/24/21/MXN/		2,264,742.63
MEX BONOS DES 5% 12/11/19/MXN/		100,227.93
<b>メキシコ計</b>		<b>2,364,970.56</b>

## ペルー

BONOS DE T 7.84% 08/12/20/PEN/		2,301,117.77
BONOS DE T 5.94% 02/12/29/PEN/		221,004.66
<b>ペルー計</b>		<b>2,522,122.43</b>

## フィリピン

PHILIPPIN 3.875% 11/22/19/PHP/		951,267.81
PHILIPPIN 4.625% 12/04/22/PHP/		1,544,489.51
<b>フィリピン計</b>		<b>2,495,757.32</b>

## ポーランド

POLAND GOV 5.25% 10/25/20/PLN/		1,176,213.51
POLAND GOV 5.75% 10/25/21/PLN/		1,168,754.28
<b>ポーランド計</b>		<b>2,344,967.79</b>

## ロシア

RUSSIA GOV 8.15% 02/03/27/RUB/		677,279.91
RUSSIA GOVT 6.8% 12/11/19/RUB/		704,766.64
RUSSIA GOVT 6.4% 05/27/20/RUB/		989,609.50
<b>ロシア計</b>		<b>2,371,656.05</b>

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド

<b>国際機関</b>		
IBRD ZCP 06/15/21/INR/		1,459,075.04
INTL FINANC 6.3% 11/25/24/INR/		1,121,001.56
<b>国際機関計</b>		<b>2,580,076.60</b>
<b>トルコ</b>		
TURKEY GOVER 11% 02/24/27/TRY/		614,841.53
TURKEY GOVERN 8% 03/12/25/TRY/		450,952.34
<b>トルコ計</b>		<b>1,065,793.87</b>
<b>債券計</b>		<b>20,453,522.67</b>

通貨αクラス - 2019年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：(純資産の-0.2%)

戦略	満期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2019/6/10	Credit Suisse International	\$ 15,817,457	\$ (40,429)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2020年1月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年7月18日～2020年1月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年1月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（82,829,709千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年1月17日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,998	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第15期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

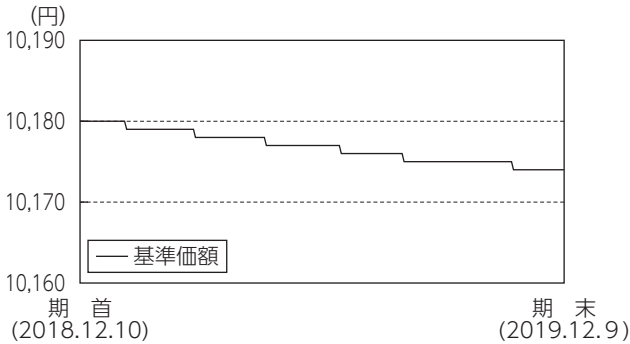
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>



■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
12月末日	10,180	-	-
2019年1月末日	10,179	△0.0	-
2月末日	10,179	△0.0	-
3月末日	10,178	△0.0	-
4月末日	10,178	△0.0	-
5月末日	10,177	△0.0	-
6月末日	10,176	△0.0	-
7月末日	10,176	△0.0	-
8月末日	10,175	△0.0	-
9月末日	10,175	△0.0	-
10月末日	10,175	△0.0	-
11月末日	10,174	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	10,174	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	350,004	(350,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	238,999,542	(238,999,547)

- (注1) 金額は受渡し代金。
- (注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■主要な売買銘柄 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。  
(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表 国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	83,690,918	100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A-B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C/D)	10,174円

\* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/R I C I® コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、ブルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワF Eグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

## ■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A+B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△ 1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C+D+E+F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。